

イノシシは
まっすぐに
しか走れない

なんて
真っ赤な
ウソ

急停止も

バックも

カーブも
できるよ

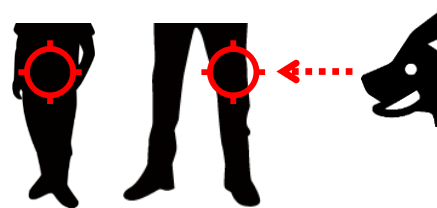
警戒心が強く臆病だが、見通しが悪い場所では大胆になる
もし遭遇した時は「高い場所」か「見えない所」に逃げる



餌付けしないでください

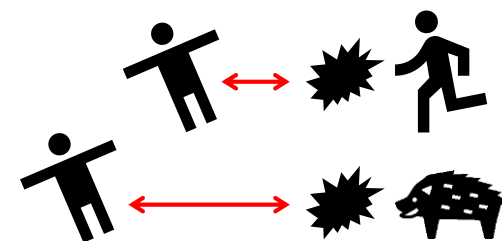
！ キバに注意

- ・オスはキバをしゃくり上げて攻撃する。
- ・首を振ってキバで切りつける事で、厚手の作業服でも簡単に切り裂いてしまう。
- ・ちょうど成人の太ももの高さにあたり、大動脈を切られ死亡した事故も発生している。
- ・メスはオスほど大きなキバを持たないが、かみつくと力は強く、猟師が手に大けがをした事例もある。



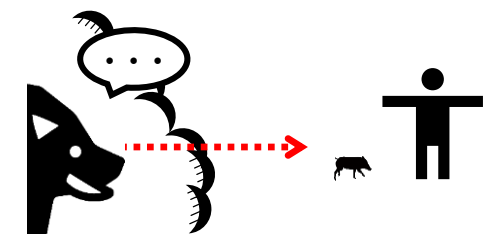
！ 突進に注意

- ・突進する力は非常に強く、初速が速い。
- ・同じ体重の人間がぶつかるよりも強い衝撃力。
- ・突進する素振りを全く見せずに、突然こちらへ向かってくる。
- ・人間が反応できる速度より早く、目の前で急に突進されると避けられない。



！ ウリ坊に注意

- ・ウリ坊を見かけたら近くに親が潜んでいると考えた方がよい。
- ・成獣と比べて、警戒心が弱く好奇心が強いいため、追い払おうと人が音を鳴らすと逆に近寄って来ることも。
- ・被害を助長するので、餌付けは厳禁。
- ・餌付けすると「人間は怖くない」と覚えて大胆に行動するようになる。



イノシシに遭遇したときの4箇条

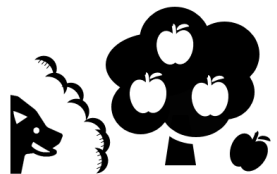
- 1 刺激せず目を離さない
- 2 それ以上、近付かない
- 3 逃げられる場所を探す
- 4 背中を見せずに静かに素早くその場を離れる



住宅地に出没した

現場に急行します、お電話ください。
住所や目印となる建物、何頭がどちらの方向に行ったか等をお伝えください。

▶ 環境保護課 33-1481

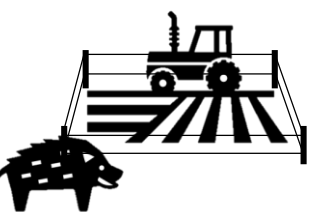


農作物被害を受けた

被害の届け出や相談は、お近くのJAかながわ西湘又は市役所農政課までご連絡ください。

▶ JAかながわ西湘 47-8183(本店)

▶ 農政課 33-1494



電気柵を設置したい

農業者を対象にしたメッシュ柵や電気柵の購入費の一部を補助する制度があります。一定の要件がありますので、市役所農政課まで一度ご相談ください。

▶ 農政課 33-1494

発行：小田原市環境保護課 0465-33-1481

協力：小田原市鳥獣被害防止対策協議会

・本発行物は、複数の論文や媒体から情報を収集し小田原市がまとめたものです。
・著作権等については細心の注意を払っておりますが、万一該当する場合はご連絡ください。
・本発行物の二次利用は、自治会内での利用等一般的な利用及び第三者の権利を侵害しない利用に限りします。
・本発行物の利用に関連して生じる直接的もしくは間接的な損害、損失等についていかなる場合も一切の責任を負いません。

日ごろ生活している地域の皆様にしかできない対策があります

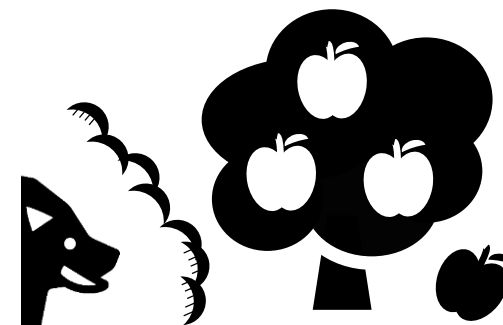


ごみ
集積所を
綺麗に

生 ごみはイノシシだけではなく、カラスやハクビシン、タヌキといった動物のエサにもなるため、そうした被害を生む動物を誘引する原因になります。

ほぼ全てのごみ集積所は、ネットやボックスなどで保護されていますが、人間が管理の手を緩めると、すぐに動物が寄ってくるようになります。

地域の力でごみ集積所を綺麗に保つようにしましょう。

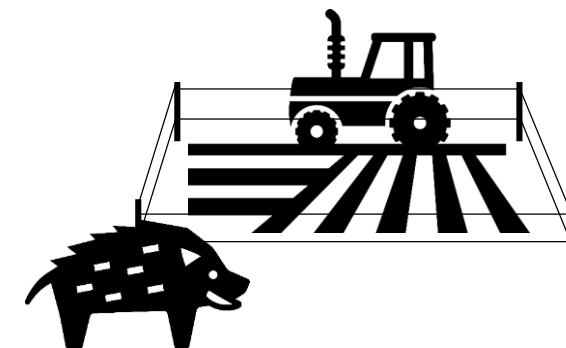


ひそみ場
を無くす

活 発に動き回る時期は、およそ田畑や果樹園が豊かににぎわう時期でもあります。

廃棄した農作物を畑のそばに放置したり、収穫しない果実はそのままにしないようにしましょう。

また、草むらや耕作放棄地は、イノシシが身を隠すのに最適な場所です。刈払いを行うだけでも、見通しが良くなってイノシシが近づきにくい環境になります。



田畑には
メッシュ柵か
電気柵

防 護柵として最も効果的なのが、田畑を電気柵でグルッと囲ってしまうことです。

「人間が檻のなかにいるようだ」と嫌う方もいらっしゃいますが、頻出する地域ではそうした対策が重要な意味を持ちます。

掘り起こしが得意な動物ですから、地面までしっかりと防護しましょう。

なお、有刺鉄線による侵入防護はイノシシには効果がありません。

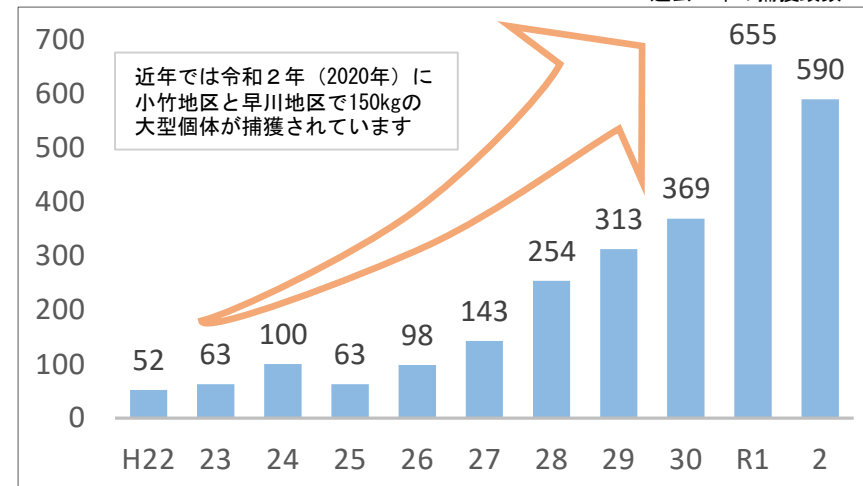
増え続けるイノシシ

イノシシの繁殖力は人間にとって脅威です。ハンター（狩猟免許所持者）の数は、全体で微増となっていますが、それを上回る勢いでイノシシが増え続けています。

住宅地に出没する個体は、最終的には駆除することになりますが、それ以前にイノシシが住宅地に近付かないようにする、地域の皆様による環境整備が重要です。

このままでは、手に負えなくなるのも時間の問題です。ぜひ、上の3点に本格的に取り組んでください。

《 過去10年の捕獲頭数 》



イノシシの捕獲頭数は
近年増加傾向

この10年で
11.3倍